

偶像／アイドル

シリーズ～預言者の声～

2022/2/27

先週のおさらいクイズ

問) 主に何でも与えると言われ、ソロモンが願ったものとは？

答) 民を正しく治めるための知恵

問) 父ダビデの念願でソロモンが成し遂げた事業とは？

答) 主の神殿建設

問) 晩年、ソロモン王が犯した過ちとは？

答) 異教崇拝

問) ソロモンに対して下された罰とは？

答) 王国の分裂(ユダ族以外家臣に与える)

ヤロブアムの任職

- ソロモンの有能な家臣であったヤロブアム
 - 「このヤロブアムは有能な人物だったので、ソロモンはこの若者の働きぶりを見て、ヨセフ族の労役全体の監督に任命した」(列王記上11:28)
- 預言者アヒヤによる任職
 - 「そのころ、ヤロブアムがエルサレムを出ると、シロの預言者アヒヤが道で彼に出会った。預言者は真新しい外套を着ていた。野には二人のほかだれもいなかった。アヒヤは着ていた真新しい外套を手にとり、十二切れに引き裂き、ヤロブアムに言った。「十切れを取るがよい。イスラエルの神、主はこう言われる。『わたしはソロモンの手から王国を裂いて取り上げ、十の部族をあなたに与える』(11:29-31)

ヤロブアムとレハブアム

- エジプトに逃げたヤロブアム
 - その事を知ったソロモンはヤロブアムを殺そうとしたが、ヤロブアムはエジプトに逃げた
- 後継者レハブアムへの質問
 - 「あなたの父上はわたしたちに苛酷な軛を負わせました。今、あなたの父上がわたしたちに課した苛酷な労働、重い軛を軽くしてください。そうすれば、わたしたちはあなたにお仕えいたします。」12:4
- レハブアムの答え
 - 長老たちは、民に優しくするよう進言したが、レハブアムと共に育った若い家臣たちの意見を採用し、苦役を重くすると語った(12:10-11)

民の離反

- この決定は主の計画による
 - 「王は民の願いを聞き入れなかった。こうなったのは主の計らいによる。主は、かつてシロのアヒヤを通してネバトの子ヤロブアムに告げられた御言葉をこうして実現された。」12:15
- イスラエルの民、レハブアムを見限る
 - 「イスラエルのすべての人々は、王が耳を貸さないのを見て、王に言葉を返した。『…イスラエルよ、自分の天幕に帰れ。ダビデよ、今後自分の家のことは自分で見るがよい。』こうして、イスラエルの人々は自分の天幕に帰って行った。レハブアムは、ただユダの町々に住むイスラエル人に対してのみ王であり続けた。」12:16-17

イスラエルの分裂

- 労役監督の殺害
 - レハブアム王は労役監督を遣わしたが、イスラエルの人々は彼を石で打ち殺した
- ヤロブアムの即位
 - 「イスラエルのすべての人々はヤロブアムが帰ったことを聞き、人を遣わして彼を共同体に招き、王としてイスラエルのすべての人々の上に立てた。」12:20
- あわや南北戦争か
 - レハブアムは兵を招集してイスラエルに攻め込もうとしたが、「神の人シェマヤ」によって語られた主の言葉に従い、戦わなかった

列王記上12章25～33節

ヤロブアムはエフライム山地のシケムを築き直し、そこに住んだ。更に、そこを出てペヌエルを築き直した。ヤロブアムは心に思った。「今、王国は、再びダビデの家のものになりそうだ。この民がいけにえをささげるためにエルサレムの主の神殿に上るなら、この民の心は再び彼らの主君、ユダの王レハブアムに向かい、彼らはわたしを殺して、ユダの王レハブアムのもとに帰ってしまうだろう。」彼はよく考えたうえで、**金の子牛**を二体造り、人々に言った。「あなたたちはもはやエルサレムに上る必要はない。見よ、イスラエルよ、これがあなたをエジプトから導き上ったあなたの神である。」

彼は一体をベテルに、もう一体をダンに置いた。この事は罪の源となった。民はその一体の子牛を礼拝するためダンまで行った。彼はまた**聖なる高台に神殿を設け**、レビ人でない民の中から一部の者を祭司に任じた。ヤロブアムはユダにある祭りに倣って第八の月の十五日に祭りを執り行い、自ら祭壇に上った。ベテルでこのように行って、彼は自分の造った子牛にいけにえをささげ、自分の造った聖なる高台のための祭司をベテルに立てた。彼は勝手に定めたこの月、第八の月の十五日に、自らベテルに造った祭壇に上った。彼はイスラエルの人々のために祭りを定め、自ら祭壇に上って香をたいた。

「ヤロブアムの罪」

- ヤロブアム王の不安
 - いけにえを献げるためにエルサレム神殿に行くと民の心がユダの王に向かうかもしれない
- 金の子牛を立てる
 - 「金の子牛」は出エジプトの際にアロンが造った偶像<牛は力と多産の象徴
 - ベテルはイスラエルの北端、ダンは南端の町
- 自前の神殿と祭司
 - 「聖なる高台」とは異教崇拝のための場所
 - 主に仕えることを許されたのはレビ人のみ
 - ヤロブアム自らも犠牲をささげた

「ヤロブアムの罪」

- ヤロブアム王の不安

- いけにえを献げるためにエルサレム神殿に行くと民の心がユダの王に向かうかもしれない

- 金の子牛を立てる

- 「金の子牛」は出エジプトの偶像<牛は力と多

- ベテルはイスラエルの北端の町、ベニミン族は南端の町

- 自前の神殿と祭司

- 「聖なる高台」とは異教崇拝のための場所
- 主に仕えることを許されたのはレビ人のみ
- ヤロブアム自らも犠牲をささげた

一度タガが外れると罪は際限なく広がっていく

偶 像

- 十戒／第二戒

- 「あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。」
出エジプト20:4 <主なる神の像であっても！
- 本来は見えない神を見える形にしてはならない

- 人はなぜ偶像を求めるのか？

- 人は皆祈り崇める対象を求めている
- 像にすることで身近な存在とすることができる
- しかしそれは、神の聖さ（創造主として絶対性）を犯す重大な罪である

偶像とアイドル

- “アイドル”とは英語で“偶像”のこと
 - 最初のアイドルと呼ばれたのは『オズの魔法使い』(1939年)のジュディ・ガーランドか？
 - 日本では1950年代のロカビリーブームから
 - 最近はAKB・K-POP・ユーチューバー...
- アイドルは神様の代わりではない
 - “ファン・追っかけ・推し(おし)”大いに結構
 - 憧れや応援する気持ちは自然な欲求
- 神様よりも大切になったら危険です！
 - 神のように崇める
 - 祈りや願いの対象とする